

発行所(郵便番号100)  
東京都千代田区丸の内2-4-1  
丸の内ビルディング781号室  
社団法人スウェーデン社会研究所  
Tel (212) 4007・1447  
編集責任者 岡沢憲夫  
印刷所 関東図書株式会社  
定価200円(年間購読料参千円)  
1990年6月25日発行  
第22巻第6号  
(毎月1回25日発行)  
昭和44年12月23日第3種郵便物認可

# スウェーデン社会研究月報

Bulletin Vol.22 No.6

Japanska Institutet För Svensk Samhällsforskning  
(The Japanese Institute for Social Studies on Sweden)  
Marunouchi-Bldg., No.781, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan.

## 北欧の対ソ対独三角関係

Nordic Triangle-Relations with USSR and GERMANY

北海道東海大学教授 武田 龍夫  
Prof. Tatsuo Takeda

近頃改めて北欧とソ連、ドイツとの関係が再考されている。北欧は地理的に西欧中心から僻遠の地域であり、欧州中央の覇権斗争から比較的独立した立場を維持してきた。30年戦争やナポレオン戦争やその他の戦乱にコミットしたことがあったが、概してバルト海1千年のミニ覇権をめぐる北方戦争的な地域性をもって自己完結の推移を辿ることが出来た。

ところが産業革命以降木材や鉄鉱などの経済資源、また軍事科学技術の発達による海空陸軍の機動的推力などで必然的に大国間の戦略地域に組みこまれ、その利益争奪地域となってしまった。即ち北欧を頂点とする底辺の二点ソ連とドイツとの関係が拡大されることになったのであり(その真ん中にバルト海が横たわる)、その両底辺よりの何回かの衝撃の波が打ち寄せることになった。

それはツァーロシヤの膨張であり、新興ドイツのパワーポリテックスへの登場であった。

他方三角形の背後には英国、更に遠くに米国が存在するが、何れも歴史的な友好国である。

かくて北欧近現代の対外政策、就中安全保障政策はソ連(帝政ロシア)、ドイツにその重点が置かれることとなった。そして第一次大戦では北欧各国は中立を維持することが出来て、大戦の結果も北欧にとっては幸福なものとなった。帝政ロシアは崩壊し、革命ロシアは国内再建で多忙だった。ドイツは敗北して弱体化した。脅威は東方と南方に去った。しかもバルト三国とフィンランドが独立して東方のバツファーエリアとなった。しかしやがてソ連及びドイツが再び脅威となる日がきた。

その結果は2度にわたるフィンランドの対ソ戦であり、デンマーク、ノールウエーのドイツによる被占領であり、スウェーデンのみ辛らうじて中立を維持することが出来た。しかも大戦後の北欧は以前ほど幸福になれなかった。それはドイツが分裂し弱体化したのはよいが、その代わりにソ連という恐ろしい隣人がバルト海の扉口に現れたからである。

かくて北欧は「ノルディックバランス」という国際安全保障の新しい秩序をつくり上げたのである。しかし両底辺からの波は寄せては打ち返す。今度はそのソ連がペレストロイカでまたまた内向き求心的となって国内再建に熱中することとなった。と同時に再統一ドイツがその強大な経済力をもって再び復活してきた。

バルト三国への独立支援と、E C、E F T A、ソ連東欧を包括する欧州秩序再編へのアプローチの中で、これまでの歴史的三角関係を止揚しようとする北欧の動機と目標は以上のような背景からきている。

### 目次

北欧の対ソ対独三角関係……………武田龍夫…	1
老人ホーム現場の若者達…グンナーソン浩江…	2
S I P ニュース ……………	3
(広告) '90スウェーデンシルバー ビジネスシンポジウム ……………	5
(統計) 数字で見るスウェーデン (No. 7) ……	6

# 老人ホーム現場の若者達

Youth at the site of old-age homes

スウェーデンテレビ放送協会 グンナーソン浩江

Swedish Television Tokyo Hiroe Gunnarsson

灰色の厚い雲が空を覆い、暗くて冷たかった冬がやっと終わりを告げる4月から5月にかけてスウェーデンの自然は、それまでのモノトーンの世界から太陽が輝き色とりどりの花と緑に溢れるカラーの世界へと一気に移行していく。日照時間は日一日と長くなり、白夜へとどんどん進んでいくにつれ、暗くうっとうしい冬を長い間耐えてきた人々の表情も明るく楽しげになっていく。

6月から7月にかけて一年中で最も美しい季節の夏はスウェーデンの人たちが息を吹返すセメスター（長期有給休暇）の時期でもある。彼らにとっての夏の休暇とは我々日本人にとって想像出来ないほど大事なものとされ、心身共に健康な生活を維持するために必要不可欠なものとして全ての労働者に五週間の連続有給休暇が保証されている。

人々が仕事を忘れ、野や山や海での自然と一体になった自由な生活を精一杯楽しんでいるこの時期は全国の福祉施設の現場で人手不足が深刻になる福祉危機の時期でもある。

世界に名だたる福祉国家スウェーデンは早くから高齢化社会問題に取り組んできており、老人福祉サービスはどんな小さな田舎の村や町にも深く浸透して、確実に機能している。

スウェーデンの南の町エスローヴでは大小合わせて約10の農村を含めコミューン全体で人口が24,000人である。ここには老人ホームやケア付き住宅が5ヶ所あるが、その一つに「陽の当たる丘」という名の老人ホームがある。そこでは120人の入居老人を25人の介護員が世話しているが、このホームでも例外なく夏の間はスタッフの休暇のため、人手不足に悩む。休暇とは縁のないお年寄りの生活を夏の間支障なく守っていかねばならないホームにとって、力強い味方が18~20才の学生アルバイト達のヤングパワーである。学校が夏休みに入るとすぐに老人ホームの補助ヘルパーのアルバイトをする若者は男女を問わず地方ほど一般的である。都会のようにレストランやホテルや店も殆どない田舎でも確実に仕事があるのが障害者や老人のための福祉施設というわけである。

夏の休暇中の介護員に代わってお年寄りの世話をする彼らの仕事は決して楽ではない。朝は7時から夕方5時まで、また正午から夜の9時までの間に入居老人の介護の他にも在宅老人のホームヘルパーとしての仕事もある。

ホームの老人達は独身の人も夫婦も個室に住み、自分の慣れ親しんだ家具や身の回りの品を持ち込み、家族の写真や思い出の品に囲まれて出来るだけ家庭的なムードの中で生活をしている。

入居者は介護の必要度に応じて12人ずつのグループに分けられ、各グループに一人から二人の介護員がついて日常の生活の世話をしている。その中の一つは重度介護グループとされ、障害をもつ老人や痴呆性老人12人を3~4人で世話している。若いヘルパー達もかなりハードな仕事となるこのグループを担当することが多い。おむつの交換、トイレの介助、薬の投与、着替え、入浴、食事の世話から車椅子での散歩など生活の全ての面で介護を必要とするお年寄りの世話は忍耐を要し、肉体的にも相当な重労働のため慣れないうちは力のある若者でさえクタクタになる。

どんな重い障害のある人でもできるだけ自分の部屋から出して皆と交わせ、行動を共にし、食事と一緒にさせるなど、刺激を多く与え身体を動かして寝たきりにさせない様にと努力するホームにとって最大の悩みが慢性的な人手不足である。学生にとってホームでの仕事は比較的高い報酬を得られるので一般的なアルバイトの一つになっているが、そのハードな仕事の内容のため定着度は低く全国の老人ホームは常時良質なヘルパーの確保に苦労している。

「高福祉高負担」を進めてきたスウェーデンでは末端のどんな施設でも福祉制度が国や地方自治体の責任において十分に機能する事が当然とされ、安心できる老後を誰にも遠慮せず、頼ることもなく過ごす事が出来る権利が全ての人に平等に与えられている。国民の老後を善意のボランティアの奉仕に依存させる事態などは決して許されないのである。福祉の現場で奉仕するスウェーデンのボ

ランティア活動を見学したいとホームを訪れたある日本のボランティア団体のスタッフはボランティアの姿が見えない理由をホームに尋ねたがこの様な説明を聞いて絶句した。

より人間らしい老後を求めつづけるこの国の福祉の現場は多くの若い学生アルバイトによって支

えられている。しかしこれは、福祉行政の進んだ現在の社会では身近な老人との同居も経験する事のない若者たちにとって、老人ホームでの仕事が彼らにとって、「人間と老い」について考え、人間への優しさを感じとる一つの機会となっている事は確かだろう。

## 〈SIP ニュース〉

### 経済動向の極めて不活発な時期にある北欧諸国

デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデンの産業連盟の専門家が共同で半年毎に発行している調査報告書「北欧経済展望」(Nordic Economic Outlook)の1990年度4月号の要旨は次の通り。

「北欧諸国は全体的に景気動向の極めて不活発な段階に入り、需要成長及び生産成長はかなり低迷している。また、コストはひき続き、加速度的な度合いで上昇している。すなわち、これら全ての兆候が北欧経済の景気下降を呈示している。しかしながら、デンマークとノルウェーはやや有利な立場におり、国内需要及び工業生産に上向きの傾向が見えてき始めた。

スウェーデン及びフィンランドの国内需要は過去2年間に比べて極めて低い割合でしか伸びていない。因みに、北欧地域の国内需要は1988年及び1989年に2～3%の伸び率を示したが、本年度の成長率は1%程度にとどまるものと見込まれる。成長率の低下は投資活動の減少が見込まれていることに起因する。

同地域の民間消費は1990年度におよそ1%の成長を示すものと見込まれているが、本年度の成長率は約2%に達するであろう。1988年、1989年度の北欧諸国の輸出成長率は5～6%と比較的高かったが、本年度の成長率は1.5%強へと急速な下降が予想される。なお、1992年には、同成長率は3%程度までに回復するであろう。また、同地域の工業生産は1988年、1989年に年間2%程度の成長を示したが、1990年には0.5%に満たない微々たる成長を示すにとどまるであろう。因みに、本年度最も良好な成長を示すことが予想されるのはデンマークとフィンランドであり、スウェーデンは逆に成長が下降するであろう。同地域の消費者物価は1990年、1991年に、各6%程度の上昇を示すであろう。また、失業率はひきつづきOECD諸国の平均4%を下回るであろう。

### スウェーデンの対EC貿易は黒字、対極東貿易は赤字

中央統計局の調査によると、スウェーデンとヨーロッパ共同体加盟諸国との貿易は過去2年間に超傾向に転じ、1987年度にはおよそ40億クローナ(960億円)の赤字を記録していたにもかかわらず、1989年度1～11月期では57億クローナ(1,368億円)の黒字を示した。

また、スウェーデンとヨーロッパ自由貿易連合加盟国との貿易は、我が国の黒字が減少する傾向にあり、1987年度は146億クローナ(3,504億円)の黒字に帰結したものが、1989年度には92億クローナ(2,208億円)に減少した。我が国の対北米貿易も同様の傾向にあり、黒字が1987年度の132億クローナ(3,168億円)から1989年には74億クローナ(1,776億円)に減じた。一方、わが国と極東の国々との貿易赤字は過去2年間に13億クローナ(312億円)から113億クローナ(3,712億円)へと大幅に増大したが、これは主として、日本からの輸入が増大したことによる。

なお、1989年度1～11月期の輸入総額は前年同期比で13%増の2,870億クローナ(6兆8,880億円)であったが、結果的に貿易黒字は228億クローナ(5,472億円)から171億クローナ(4,104億円)に減じた。

(SIP 96/90)

## 試験生産されている電気自動車及びバス用のA B B高エネルギー電池

此の程、電気自動車や高性能の工業自動車やバス用の新世代の高エネルギー電池が、スウェーデンとスイスの合併グループであるアセア・ブラウン・ブーベリ (Asea Brown Boveri = A B B) グループによって開発され、目下、試験生産に入っている。新電池は特別開発されたセラミック材の固形電解物と共に、ソジウム及びビオウの電気化学システムを利用することに基づいている。

多くの規格車が新電池及び新電気モーターを装着し、目下、スウェーデン、ドイツ、日本、カナダでテストされている。その種の車はドイツだけで70台が走行しており、それらの一回の充電での走行可能距離は150kmを越える。なお、それらの車は本来は、大気が汚染された環境や渋滞した都市交通で利用される業務用自動車の運搬向けに意図されている。スウェーデン運輸研究局のスティグ・ノードクヴィスト教授 (Stig Nordqvist) が行なった最近の研究によると、ストックホルム市のような交通状況における車の一日の平均走行距離は75kmだという。電池の再充電は夜間の駐車中に行われるが、必要とあれば最高2時間早めることができる。

スウェーデンで、今春、クライスラーモデル T 115 ミニバン (Chrysler Model T-115 Minivan) のテストが行われたが、同モデルには重量276kg、エネルギー容量22kwhの110V電池が装着されていた。この比較的重いバン (1,800kg) は最高時速95km/h、0~50km/hまで15秒という加速能力を有する。駆動セッケー式は、DCモーター、パワーコントローラー、伝動装置を包含し、エンジンコンパートメントに容易く装着できるコンパクトユニットを形成する。電子コントローラーは回生ブレーキ、プログラマに組める内蔵式充電器、12V補助電力用のDC-DCコンバーター、電池の温度保護等のためのその他多くの制御装置を包含する。

ドイツの中サイズの実験車 (BMW 325ix) で行われたテストは、100km当たりの電気自動車のエネルギーコストが都市部で、12~15クローナ (228-360円) 相当であることを示しているが、従来のガソリン駆動車の同コストは60クローナ (1,440円) である。ドイツのハイデルベルグの実験生産工場とは別に、使用済みの古い高エネルギー電池再生用の実験工場が目下建設されているところである。

## 他の技術では不可能な患部繊維を認定する「レーザーカメラ」

ルンド工科大学原子物理学部のステファン・アンデション・ユンゲルス (Stefan Andersson-Engels) の論文「医療診断法のためのレーザー誘導蛍光」(Laser-induced Fluorescence) の中で、レーザー診断における新技術が紹介されている。「レーザーカメラ」(laser camera) と呼ばれる新しい診断器械の実機は、現在同大学のスピノフ会社によって開発されているところで、夏までに使用準備が整うものと見込まれている。なお、完成品は悪性腫瘍組織やアテローム性動脈硬化症の隆起を確定するのに使用される予定である。

医療診断目的にレーザー誘導蛍光を使用するプロジェクトは、ルンド大学病院の数多くの診断室で、既に推進されてきているが、その際窒素レーザーは、内視鏡もしくは気管支鏡の助けを借りて、繊維が健康か悪性かにより、異なる強度の蛍光を誘導するために使用される。これらの診断技術は、目下、日本、西独、米国で商業的に開発されている途中であるが、アンデション・ユンゲルス博士の研究はその作業をさらに前進させることに貢献するといわれている。

悪性と疑われる繊維部分は窒素レーザーを放射され、その結果生ずる蛍光は極めて敏感なCCDカメラによって、4つの異なる波長で記録される。同データはコンピュータで処理され、ほとんど瞬時にモニタースクリーンに患部の映像が映し出される。医者はその映像をX線写真の場合と同様に分析することができる。「レーザーカメラ」は肺や腸を検査するのに有益な機器となりうるが、とりわけ他の技術で、腫瘍の正確な位置を指示することができなかつた場合に役立つだろうといわれている。同技術の他の有効な利用法としては、神経外科分野での応用があげられよう。

アンデション・ユンゲルス博士は、アテローム性動脈硬化症の隆起治療の分野での「レーザーカメラ」の一層の開発の可能性を予見しており、血管壁を突き通さずに硬化した部分を除去できる極めて強力なレーザーと、「レーザーカメラ」との組み合わせの実現の可能性が高いと述べている。

# '90 スウェーデン シルバービジネス シンポジウム

## 第1回

# スウェーデンのサービスハウス

—日本の有料老人ホームにも有効なコンセプト—

開催期日/1990年7月12日(木)~13日(金)

会場/全社協ホール 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

受講料/1名 ¥65,000 (懇親会費用を含む)

主催/スウェーデン大使館

後援/厚生省(予定) シルバーサービス振興会 全国有料老人ホーム協会

### 7月12日(木)

- 13:00~13:15 主催者挨拶  
駐日スウェーデン大使  
オーベ・ハイマン
- 13:15~13:45 「日本の有料老人ホームの現状と老人福祉法の改正について」  
厚生省シルバーサービス振興指導室  
星野 順
- 13:45~14:30 「スウェーデンのサービスハウスから何を学ぶか」  
全国有料老人ホーム協会 長谷川力
- 14:30~15:15 「高齢期における生活のありかた——スウェーデンから何を学ぶか」  
東京都老人総合研究所 林 玉子
- (15:15~15:30 コーヒーブレイク)
- 15:30~16:30 「住宅、在宅ケアそして施設ケア：高齢化社会での最も重要な課題」  
リンショピング大学  
オーベ・アンベッケン
- 16:30~18:00 「如何にして快適なサービス環境をプロデュースするか——ソフト面」  
ストックホルム大学 訓覇法子  
ブラッケベリ病院 本間正子

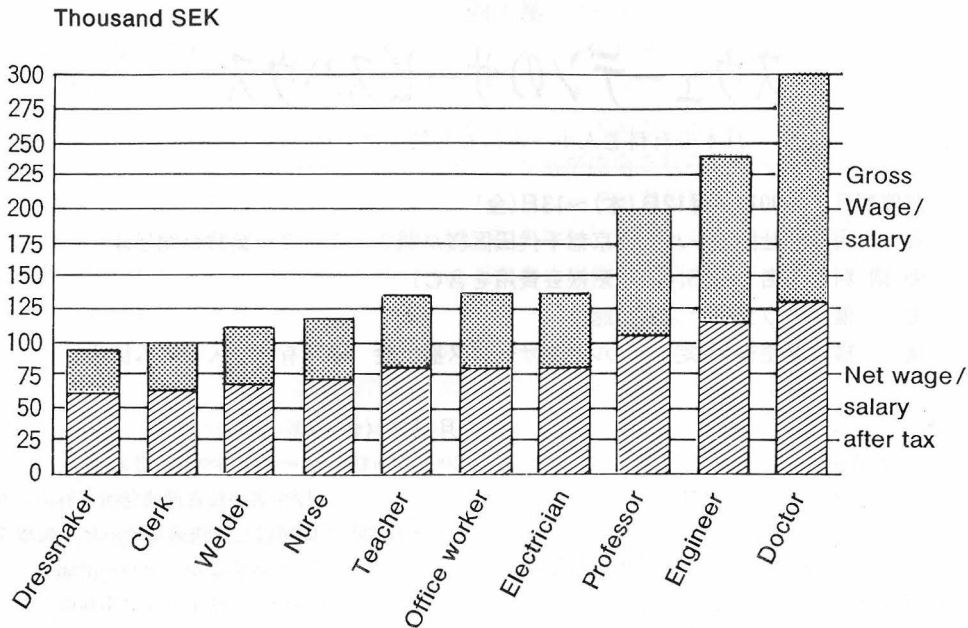
### 7月13日(金)

- 9:00~10:00 「サービスハウスの老人達」  
厚生省病院管理研究所 外山 義
- 10:00~12:00 「如何にして快適なサービス環境をプロデュースするか——ハード面」  
コーコンサルト設計事務所  
マッツ・ビヨルッド
- (12:00~13:00 昼食)
- 13:00~14:00 「新しい有料老人ホームのコンセプト SWEDEN SILVER CLUB とは」  
リンショピング大学  
オーベ・アンベッケン
- 14:00~14:15 コーヒーブレイク)
- 14:15~16:15 パネルディスカッション  
「スウェーデンのサービスハウスは日本の有料老人ホームのモデルになりうるか」
- パネリスト**
- ・リンショピング大学
  - ・オーベ・アンベッケン
  - ・コーコンサルト設計事務所
  - ・マッツ・ビヨルッド
  - ・ストックホルム大学 訓覇法子
  - ・日本社会事業大学 京極高宣
  - ・東京都老人総合研究所 林 玉子
  - ・清水建設株 矢代知弘
- 16:15~17:00 質疑応答
- 17:00~17:15 まとめと閉会挨拶  
スウェーデン大使館  
ヨーラン・エドマン
- (18:00~20:00 懇親会)

\*参加申し込み スウェーデン大使館商務部 TEL03-403-9242~5  
〒106 東京都港区六本木6-11-9 スウェーデンセンタービル2階

## 数字で見るスウェーデン (No. 7)

### ⑦賃金と俸給 (Wages and Salaries)



#### Average income in various occupations in Sweden, 1986

SEK per year, per employee

Occupation	Gross income	Net income after tax
Dressmaker	94,800	62,800
Clerk (public sector)	100,000	65,000
Welder (skilled)	110,000	70,500
Nurse	116,800	73,500
Upper secondary school teacher	135,000	82,300
Office worker (intermediate level)	135,700	82,400
Electrician skilled	137,000	83,500
Full professor	200,000	105,800
Engineer (manufacturing)	240,000	116,500
Senior doctor	300,000	131,800

Source : Swedish Confederation of Professional Associations

Dressmakers are among the lowest-paid blue collar workers and electricians are the highest-paid. Physicians are among the highest-paid employees in the public sector.

Swedish income taxes are steeply progressive. A SEK 205,000 difference in gross pay between the highest and lowest wage/salary in the table is reduced to SEK 68,000 after tax. In practice, this progressive effect is often reduced by various opportunities for deductions. On the other hand, it may be amplified by various public allowances and fees that vary according to income. But the marginal tax levels (tax brackets) declined between 1982 and 1985, being later slightly increased again. The maximum level of 75 percent is reached at an income of SEK 190,000.